



神奈川県

地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所

令和2年度 業務実績評価書

令和3年9月

神奈川県

地方独立行政法人法（以下「法」という。）第 28 条に基づき、次のとおり地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所（以下「K I S T E C」という。）の令和 2 年度の業務実績に関する評価を実施した。

1 年度評価の基本的方針

業務実績に関する評価は、「地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所の各事業年度の業務の実績に関する評価の実施基準」（平成 30 年 4 月 1 日制定）に基づき、次のとおり行う。

(1) 基本方針

- ア 中期目標の達成に向けて、K I S T E C の中期計画の事業の進捗状況を評定する。
- イ 県民への説明責任の観点から、評価を通じて、中期目標の達成状況や業務の実施状況を分かりやすく示す。
- ウ K I S T E C の組織・業務運営等に関して改善すべき点を明らかにすることにより、法人運営の質的向上に資する。

(2) 評価方法

ア 業務実績の検証

年度評価を実施するに当たっては、K I S T E C から提出された業務実績報告書等を基に、K I S T E C からのヒアリングを実施するなど調査・分析のうえ、業務の実績の全体について検証を行う。

業務実績の検証は、年度計画に記載されている各項目の事業の進捗状況及び成果等について、できる限り客観的なデータにより適正に行う。

イ 項目別評価（小項目評価）

項目（小項目）ごとに、K I S T E C の自己評価及び年度計画の目標設定の妥当性などを総合的に検証し、K I S T E C の自己評価と同じ 5 段階の区分により評価する。

K I S T E C の自己評価と異なる評価を行う場合は、評価の判断理由等を示すとともに、必要に応じて、特筆すべき点や改善すべき点等があればコメントを付す。

ウ 項目別評価（大項目評価）

項目（大項目）ごとに、業務実績報告書及び小項目評価の結果を基に、業務実績の検証を踏まえ総合的に判断し、5 段階の区分により評価する。

なお、「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上」に関する評価に当たっては、K I S T E C が重点的に取り組むべきものとして「新技術や新製品の開発を促進する研究開発」「県内企業が直面する技術的課題を解決する技術支援」「県内企業による製品開発や商品化を促進する事業化支援」を重視するものとする。

エ 全体評価

業務実績の検証や項目別評価の結果を踏まえ、K I S T E C の中期計画の進捗状況全体について総合的に判断し、記述式で評価をする。

なお、全体評価に当たっては、県内産業の発展及び県民生活の向上に資することを目的とするK I S T E C の設立趣旨を踏まえ、「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上」を重視することとする。

また、必要があるときは、K I S T E C に対して業務運営の改善その他の必要な措置を講ずることを命ずることができる。

(3) 評価委員会の意見聴取

専門的知見に基づく適切な評価を実施するため、神奈川県地方独立行政法人評価委員会条例第3条第2号の規定に基づき、神奈川県地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所評価委員会からの意見を聴取する。

2 全体評価

《評価結果》

令和2年度は、中期計画の達成に当たり引き続き順調な進捗状況にある。

《評価理由》

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでと同様の業務遂行が困難になったが、一方で、社会の新たなニーズに対応する必要が生じた。

年度計画に定めるK I S T E Cの5つの事業の柱の1つである「技術支援」では、機器使用・立会試験の感染防止ガイドラインの策定や、依頼や問合せに関する受付方法等を変更することで業務継続を図った。また、企業が開発した抗菌・抗ウイルス製品の性能評価へのニーズに応えるため、新型コロナウイルスに対応した性能評価サービスを迅速に開始した。このほかの事業においても、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した業務改善や、社会の新たなニーズに対応した取組を実施した。その結果、各事業で着実な成果を挙げている。

さらには、組織統合を伴う地方独立行政法人化から4年目となったなか、職員間の情報共有を促進するための新たなシステムの導入や、柔軟な予算執行の実現等の改善が継続的に進められており、統合の効果が表れてきている状況である。

この結果、4つの大項目のすべてをA評価とし、令和2年度の全体評価は、中期計画の達成に当たり昨年度に引き続き順調な進捗状況にあるものとした。

(大項目評価結果)

	S	A	B	C	D
住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上	特筆すべき進捗状況にある	順調な進捗状況にある	概ね順調な進捗状況にある	進捗がやや遅れている	進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある
業務運営の改善及び効率化	特筆すべき進捗状況にある	順調な進捗状況にある	概ね順調な進捗状況にある	進捗がやや遅れている	進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある
財務内容の改善	特筆すべき進捗状況にある	順調な進捗状況にある	概ね順調な進捗状況にある	進捗がやや遅れている	進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある
その他業務運営に関する重要事項	特筆すべき進捗状況にある	順調な進捗状況にある	概ね順調な進捗状況にある	進捗がやや遅れている	進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある

3 項目別評価（大項目）

3-1 「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上」に関する評価

《評価結果》

令和2年度の評価結果は、A評価とする。

S：中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。

A：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。

B：中期計画の達成に向けて概ね順調な進捗状況にある。

C：中期計画の達成のためには進捗がやや遅れている。

D：中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

《評価理由》

年度計画に設定した数値目標 14 項目のうち、7 項目で目標を達成した。特に、新型コロナウイルス感染症の影響により施設を一時閉鎖した期間等に論文執筆や知的財産の掘り起こしが進み、数値目標の水準を大幅に上回る実績を挙げている。また、社会の新たなニーズに対応した取組として、新型コロナウイルス感染症に関する実証研究や性能評価サービスを実現している。

新型コロナウイルス感染症の影響により一部業務は一時的に休止したが、速やかに代替手段を講じ、K I S T E C の 5 つの事業の柱のうち、評価に当たって重視するとしている「研究開発」「技術支援」「事業化支援」について、S 評価 3 つ、A 評価 4 つ、B 評価 1 つ、C 評価 1 つを獲得した。

以上、総合的には中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると判断したことから、A 評価とした。

（小項目評価結果）

	S 年度計画を大幅に上回って達成している	A 年度計画を達成している	B 年度計画を概ね達成している	C 年度計画を下回っており改善の余地がある	D 年度計画を大幅に下回っており大幅な改善が必要である
1 新技術や新製品の開発を促進する研究開発(小項目 1)★	1				
2 県内企業が直面する技術的課題を解決する技術支援(小項目 2-5)★	2	1	1		

3 県内企業による製品開発や商品化を促進する事業化支援（小項目 6-9）★		3		1	
4 県内企業の技術力の底上げなどを図る人材育成（小項目 10-11）			1	1	
5 技術面を中心とした大学、研究機関、県内企業等の連携交流（小項目 12-15）		2	1	1	

★＝大項目評価にあたり重視する項目

（年度計画を大幅に上回って達成している項目（S評価））

【小項目 1】 研究開発

新型コロナウイルス感染症への対応として、「SmartAmp（スマートアンブ）法を利用した新型コロナウイルスの迅速検出法」の実証研究を推進、社会実装に貢献し、県民の新たなニーズに迅速に対応した取組により高い実績・満足度を実現している。

【小項目 4】 技術開発

新型コロナウイルス感染症の影響により、技術開発受託契約の締結を約1か月間停止したが、ホームページ改修や内部手続の効率化等、業務改善に取り組み、数値目標の水準を大幅に上回る実績を挙げている。

【小項目 5】 評価法開発

新型コロナウイルス感染症への対応として、企業が開発した抗菌・抗ウイルス製品の性能評価へのニーズに応えるため、新型コロナウイルスに対応した性能評価サービスを迅速に開始し、県民の新たなニーズに迅速に対応した取組により高い実績・満足度を実現している。

（評価委員会からの意見、指摘等）

- ・ 職員1人当たり4件程度、学会発表をしているということは、コンスタントに成果を挙げていると評価できるが、高い評価を得るために発表件数を増やすのではなく、各職員が質の高い活動をするよう努めてほしい。
- ・ 論文の執筆については、件数も大事だが、インパクトファクターを算出する等、質を求めているかどうか。職員の励みにもなる。
- ・ 橋渡しに係る共同研究件数が増えており、企業との連携等、法人が努力していることが伺われる。結果、外部資金も獲得できているが、どういった努力をしたかが報告書にて分かるように記載してほしい。

- 今後は、ウェブ上でのセミナー開催と、会場を設置してのセミナー開催とは併用することになるだろうが、意見交換に適したツールを活用する等、インターネット・リテラシーの向上に努め、効率化を図ってほしい。

3-2 「業務運営の改善及び効率化」に関する評価

《評価結果》

令和2年度の評価結果は、A評価とする。

S：中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。

A：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。

B：中期計画の達成に向けて概ね順調な進捗状況にある。

C：中期計画の達成のためには進捗がやや遅れている。

D：中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

《評価理由》

組織運営について、新型コロナウイルス感染症への対応として、各拠点を結ぶテレビ会議から自宅等から参加できるパソコン上での会議への切り替えや、企業支援等において必要となるオンライン会議の実施方法に関する研修を行った。また、予算執行状況の共有を図る等、年度計画に記載された事項を計画どおり実施している。

人事制度の運用について、クロスアポイントメント制度を利用して大学の研究員を受け入れたほか、大手求人情報サイトのオンライン職場紹介に参加する等、年度計画に記載された事項を計画どおり実施している。

業務運営について、新たな技術支援業務システムの運用を開始したほか、インターネット通信の高速化を図る等、年度計画に記載された事項を計画どおり実施している。

この結果、「組織運営」「人事制度の運用」「業務運営」について、すべてA評価を獲得した。

以上、総合的には中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると判断したことから、A評価とした。

(小項目評価結果)

	S	A	B	C	D
	年度計画を大幅に上回って達成している	年度計画を達成している	年度計画を概ね達成している	年度計画を下回っており改善の余地がある	年度計画を大幅に下回っており大幅な改善が必要である
(小項目 16~18)		3			

(年度計画を大幅に上回って達成している項目 (S 評価))
該当無し

(評価委員会からの意見、指摘等)
特に無し

3-3 「財務内容の改善」に関する評価

《評価結果》

令和2年度の評価結果は、A評価とする。

S：中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。

A：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。

B：中期計画の達成に向けて概ね順調な進捗状況にある。

C：中期計画の達成のためには進捗がやや遅れている。

D：中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

《評価理由》

収入の確保について、技術支援のニーズの高い半導体に関する試験計測機器を導入する等、年度計画に記載された事項を計画どおり実施している。

財務運営の効率化について、特定の事業や部署にひもづかない経費として法人共通経費を新設し、柔軟な予算執行を実現する等、年度計画に記載された事項を計画どおり実施している。

この結果、「収入の確保」「財務運営の効率化」について、すべてA評価を獲得した。

以上、総合的には中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると判断したことから、A評価とした。

(小項目評価結果)

	S	A	B	C	D
	年度計画を大幅に上回って達成している	年度計画を達成している	年度計画を概ね達成している	年度計画を下回っており改善の余地がある	年度計画を大幅に下回っており大幅な改善が必要である
(小項目 19~20)		2			

(年度計画を大幅に上回って達成している項目 (S評価))

該当無し

(評価委員会からの意見、指摘等)

- ・ 試験計測等料金収入という、用途を限定しない収入がある強みは大学にはない点であり、高く評価できる。

3-4 「その他業務運営に関する重要事項」に関する評価

《評価結果》

令和2年度の評価結果は、A評価とする。

S：中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。

A：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。

B：中期計画の達成に向けて概ね順調な進捗状況にある。

C：中期計画の達成のためには進捗がやや遅れている。

D：中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

《評価理由》

社会的責任について、成果活用事業者への出資やBSL3（バイオセーフティレベル3）の施設に対応する規程類の改正を行う等、年度計画に記載された事項を計画どおり実施している。

施設等の有効活用について、施設の適切な維持管理、機器の導入・更新に取り組む等、年度計画に記載された事項を計画どおり実施している。

広報の強化について、ウェブサイトのコンテンツを充実させ、電子メールによる相談件数の増加につなげる等、年度計画に記載された事項を計画どおり実施している。

この結果、「社会的責任」「施設等の有効活用」「広報の強化」について、すべてA評価を獲得した。

以上、総合的には中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると判断したことから、A評価とした。

(小項目評価結果)

	S	A	B	C	D
	年度計画を大幅に上回って達成している	年度計画を達成している	年度計画を概ね達成している	年度計画を下回っており改善の余地がある	年度計画を大幅に下回っており大幅な改善が必要である
(小項目 21~23)		3			

(年度計画を大幅に上回って達成している項目 (S評価))

該当無し

(評価委員会からの意見、指摘等)

特に無し